



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年10月15日 第890号「週刊五十嵐レポート」

資格は目的ではなく、手段

10月9日付、日経新聞夕刊「就活のリアル」は「資格を取っても無意味に？」。「AIは、複雑難解なルールを簡単に覚える。そのため、税理士・会計士・弁理士など士業系の作業は代替されやすい。士業の仕事でもAIで機械代替できるのは、定型作業。コンサルティングなど対人・企画業務をやっている人たちは残る。これからは税理士(資格)だけでは食えない。税理士(資格)を使って何をすることが重要である。資格は目的ではなく、手段とする」。

2014年の1年間、税理士の有志が集まって、ランチェスター経営戦略の勉強会を開催。その中から2015年5月に曲淵税理士は、戦略社長塾・銀座校を開講。現在は隔週水曜・土曜の月4回開催され、受講された経営者が成長し、業績はどんどん良くなってきた。

曲淵税理士は、社員10人規模の会社向けに、「経常利益倍増ノート」(あさ出版)を今月(10月)出版。冒頭部分を紹介。

「税理士として私はこれまで、20年以上にわたってたくさんの社長とお会いしてきました。そして、ほとんどの中小企業は、お金や人材、将来について日々悩みながらも会社を守るため、懸命に働いています。そうした社長の悩みでもっとも切実なのは、『どうしたら資金繰りが楽になるか?』です。社長は銀行の融資交渉や税金対策を私たちに相談されます。ところが、資金繰りをお手伝いし少し楽になったはずの会社へ1、2年経って何うと、ほとんどの場合、また同じような状態に戻ってしまっています。『根本的に経営を見直さないとダメだ』。そこに気づいた私は、経営に関する勉強をスタートしました。(中略)勉強会に定期的に参加しながら少しずつ知識を身に付け、得た知識をクライアントの社長にぶつけてみると、勉強した内容がピタッ、ピタッと合っていて、理論が正しかったと実感。(中略)社長が頭を使うべきは、『経常利益』が上がるように会社の方向性を決めることです」。

小岩校(土曜隔週)に通っている税理士は、「1年経って、戦略が解ってきて面白くなってきた」。税務顧問を受けるなら、経営戦略の解る税理士がいい。

ちょっと
気になる出来事

10月14日付、日経新聞の社会欄に「ママの執念、企業動かす」という記事。双子と一緒に自転車が出かけたい。その願いに答える3人乗り自転車が発売された。開発したのは大阪市に住む双子ママの中原美智子さん。

運転席の後に小さな椅子が前後に並ぶ三輪の「ふたごじてんしゃ」。6歳未満の2人を乗せても安定走行ができ、5月の発売以降、入荷待ちが続く。

子供を前後に乗せる3人乗り自転車はバランスがうまくとれず、転んでしまった。自転車が怖くなった。家にこもりがちになったが、思い立った。「無いならつくろう」。工場へ片っ端から電話。「世の中になんか出来ない」と言われた。メーカーに直接会いに行った。熱意に折れて試作品を作ってくれたが、上層部が「そんなもの売れない」と反対し開発中止。

それでもあきらめない。試作品を各地で試乗会を開き、双子のママの切実な声を聞いた。単なる思いつきは執念に変わった。評判は自転車部品メーカー(オーグーケー技研)に伝わる。託された双子ママの思いをぶつけ開発の意義を訴える。ようやく製品化にゴーサイン。(10月5日NHK「あさイチ」でも放映)

新製品開発の秘訣。「情熱」「熱意」。次に「あきらめない」。



一口メモ
知識

これはほんとうに必要なだろうか

ものが多くて捨てられない人がいます。どんなものでも、ものはすべて「荷物」だと思ひましょう。人間は荷物を集める清掃車みたいなものです。限りなく荷物は増えていきます。衝動的に、「これがほしい」と買ったり集めたりすると、ものはどんどん増えていきます。目的がはっきりしていないので、かといって捨てられない。コントロールするには、「これはほんとうに必要なだろうか」「なくては困るものか」という基準で選択することです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

